

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宇和島市			代表者名	岡原 文彰
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル推進課	連絡先電話番号	0895-49-7039
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	山下 慎一郎	連絡先E-mail	
住所	7988601 愛媛県宇和島市曙町1番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名(予定)	次期DX推進計画策定
概要	次期DX推進計画の策定		
支援を求める分野	計画策定支援		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻		
	令和6年12月26日	支援・助言	10時00分	11時00分	
				活動時間(分)	60

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤井 靖史
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	総合計画との関連やDX推進計画の立ち位置等の大局的なアドバイスに加え、計画に記載している内容に足りてない要素等の詳細で実務的なアドバイスをいただきました。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	5人
	属性	自治体職員	住民
	人数	5	企業・団体
			その他(学生など)
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果			
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	作成したDX推進計画案について、修正が必要な部分を把握したい。		
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	市民によって分かりやすく、職員にとって説明のしやすく実効性のある計画にする。		

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	総合計画との関連やDX推進計画の立ち位置という根本の考え方の整理。 D(デジタル)の部分と、X(変革)の部分を意識した表現になっていない点等の修正ポイント。 力を入れていく分野の具体的な取り組みについてのアドバイス。 当該計画の終期に行う効果測定についてのアドバイス。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DX推進計画案の修正方針が決まった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	①事業に係る計画書等を策定できた 第2期宇和島市DX推進計画
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今のところありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 当課の職員が直接支援を受けたため、アンケートは実施しなかった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
4-4. 事業の最終的な目指す姿	今年度中に次期DX推進計画を策定する。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

